

授業科目名 (英文名)	教職実践演習 (Practical Seminar for the Teaching Profession)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	4 年次・後期
担当教員	竹内 和雄 芦田 宏 尾崎 公子 保坂 裕子 井上 靖子 乾 美紀	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的：学校教員になるための学びの集大成として、以下の到達目標を達成するために、課題学習（ロールプレイング）、学校訪問、履修カルテ記入、模擬授業等の実践的演習を行う。</p> <p>達成目標：学校教員としての意欲、使命感や責任感にあふれ、教育的愛情を持って生徒を理解し接するとともに、他の教師等と協働し、学校運営する能力を身につけ、学校においてその能力を発揮できる資質能力を身につける。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 教師になるための「学びの軌跡の集大成」として、教師としての使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、生徒理解や学級経営等に関する事項、教科内容等の指導力に関する事項について学ぶ。</p> <p>授業計画</p> <p>第1日目 1．オリエンテーションとこれまでの学習の振り返り（履修カルテから） 2．自らが目指す教師像（教育的使命感、責任感を中心に） 3．教師としての社会性や対人関係能力（教師同士の協働、保護者や地域との連携）</p> <p>第2日目 4．生徒理解と学級経営 5．課題を抱える生徒への指導と援助 6．学校見学に当たっての視点の確認</p> <p>第3日目 7．授業を含む学校見学 8．授業の立案、実践に関する教師との対話 9．学級経営に関する教師との対話</p> <p>第4日目 10．模擬授業の計画立案 11．模擬授業のための教材、教具の工夫 12．模擬授業のための教具の作成</p> <p>第5日目 13．模擬授業の実施と検討会1（教科A、B） 14．模擬授業の実施と検討会2（教科C、D） 15．授業の総括（教師としての資質の自己評価）</p>		
テキスト	『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』：生協にて販売予定		
参考文献	（教科別）『学習指導要領解説書』		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 「学校教員としての意欲、使命感や責任感にあふれ、教育的愛情を持って生徒を理解し接するとともに、他の教師等と協働し、学校運営する能力を身につけ、学校においてその能力を発揮できる資質能力」が身についた者に単位を授与する。講義目的・到</p>		

	<p>達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまでの成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 課題レポート、グループ討議、ロールプレイング、教授法の工夫及び模擬授業（各20%）を基準として、受講態度（積極的な発言や質問等）を含めて総合的に評価する。</p>
履修上の注意・履修要件	教育実習を含めて全ての教職課程の科目を履修済み、および同年度に単位取得見込みであるもの
実践的教育	学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして教師としての使命感、社会性や対人関係に関する事項、生徒理解、教科内容の指導について指導する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・11月からの変則的な集中講義なので、開講日に気をつけること。 ・100%教師を目指す気持ちで受講することを前提とする。